

○技術資料様式（エクセル形式ファイル）の主な変更点（R2.08.01）

別紙ページ番号	変更した技術資料様式（評価対象項目）	変更内容	理由
3	企業の工事成績表定点	押印済資料の提出方法、評価方法等の注意書きを修正	複数あった注意書きを整理し、各シートの記載方法を統一したため（他の収受印欄がある資料も同様）
4, 5	企業の同種工事の施工実績	①（注1）、（参考）条件1の変更 ②コリンズ登録番号欄記入方法を変更 ③受注形態を入力不要とした	①②コリンズ以外の資料のみでも提出可能なため ③3者までのJV施工であれば、出資比率は20%以上になるため
6	企業の優良工事表彰	添付資料を表彰状の写しのみとした	添付資料の簡素化のため、入札公告またはコリンズの写しの提出を不要とし、工事種別等を発注者が保有データで確認することとしたため
7	配置予定技術者の継続学習	取得期間を5年から6年に1年延長	新型コロナウイルスの影響で、研修等が中止になり、取得予定のユニット数が取得できなくなった可能性があるため、開始年度を平成26年度のままとした
8	配置予定技術者の同種工事の施工経験	企業の同種工事の施工実績と同様に変更	企業の同種工事の施工実績と同様
9	配置予定技術者の優秀建設技術者表彰	企業の優良工事表彰と同様に変更	企業の優良工事表彰と同様
10	県管理公共土木施設に関する維持管理業務または海岸漂着物の回収業務の契約実績	元請・下請区分の入力を不要	元請・下請のどちらでも評価されるため
11	県管理道路・空港を含む除雪業務の契約実績	①県管理空港の除雪業務を対象とした ②元請・下請区分の入力を不要 ③業務名の入力方法をプルダウン化	①手引き、技術資料様式等に明記したため ②元請・下請のどちらでも評価されるため ③資料作成および審査の簡素化を図るため
12	若手・中堅技術者の配置	年齢を自動計算化	企業入力シートに入力された誕生日から入札公告日前日の年齢を自動計算し、資料作成の間違いを低減するため
13, 14	橋梁の維持修繕工事の施工実績	企業の同種工事の施工実績と同様に変更	企業の同種工事の施工実績と同様
15, 16	地理的条件（近隣地域での施工実績）	企業の同種工事の施工実績と同様に変更	企業の同種工事の施工実績と同様

企業入力シート

1. 企業情報

表のC列(赤枠内)に企業情報を入力してください。入力した情報は、各種様式に反映されます。

項目名	企業情報記入欄
1 提出日	令和2年8月24日 ←yyyy/m/dで入力
2 郵便番号	
3 住所	
4 商号又は名称	
5 代表者	
6 担当者	
7 部署	
8 電話番号	
9 FAX番号	
10 E-mail	

『若手・中堅技術者の配置』シートに自動入力されます

2. 配置予定技術者の氏名

表のC・D列(赤枠内)に配置予定技術者情報を入力してください。入力した情報は、各種様式に反映されます。

配置予定技術者	氏名記入欄	生年月日
1 配置予定技術者①		昭和55年8月3日 ←yyyy/m/dで入力
2 配置予定技術者②	島根2	昭和55年8月4日 ←yyyy/m/dで入力
3 配置予定技術者③	島根3	昭和55年8月5日 ←yyyy/m/dで入力

【重要】発注者への注意事項
 「3. 押印済資料で提出する評価項目」
 以下で不要な行は全て非表示にすること。
 【削除厳禁(発注者審査作業用シートに影響有)】

3. 押印済資料で提出する評価項目

発注者收受印欄に押印した技術資料の写し(以下「押印済資料」という。)で技術資料を提出する評価項目がある場合は「有」、ない場合は「無」を選択してください。

「有」を選択した評価項目は、このファイルで技術資料を作成する必要はありません。押印済資料のみ提出してください。

<企業>

押印済資料での提出	様式名
無	○企業の工事成績評定点 (様式-0-1、様式-0-2)
	○企業の同種工事の施工実績 (様式-0)
無	○企業の優良工事表彰(優良工事施工団体表彰) (様式-0)
	表3【企業】評価項目の着色セルに項目を記入した場合、ここに記載文を直接入力！
	表3【企業】評価項目の着色セルに項目を記入した場合、ここに記載文を直接入力！

<地域貢献>

押印済資料での提出	様式名
	○防災協定の締結実績 (様式-0)
	○県管理公共土木施設に関する維持管理業務または海岸漂着物の回収業務の契約実績 (様式-0)
	○県管理道路・空港を含む除雪業務の契約実績 (様式-0)
	○ボランティア活動等への参加実績 (様式-0)
	○若手・中堅技術者の配置 (様式-0)
	表3【地域貢献】評価項目の着色セルに項目を記入した場合、ここに記載文を直接入力！

<配置予定技術者①: >

押印済資料での提出	様式名
	○配置予定技術者の資格 (様式-0)
	○配置予定技術者の同種工事の施工経験 (様式-0)
	○配置予定技術者の優秀建設技術者表彰 (様式-0)
	表3【技術者】評価項目の着色セルに項目を記入した場合、ここに記載文を直接入力！

<配置予定技術者②: 島根2>

押印済資料での提出	様式名
	○配置予定技術者の資格 (様式-0)
	○配置予定技術者の同種工事の施工経験 (様式-0)
	○配置予定技術者の優秀建設技術者表彰 (様式-0)
	表3【技術者】評価項目の着色セルに項目を記入した場合、ここに記載文を直接入力！

<配置予定技術者③: 島根3>

押印済資料での提出	様式名
	○配置予定技術者の資格 (様式-0)
	○配置予定技術者の同種工事の施工経験 (様式-0)
	○配置予定技術者の優秀建設技術者表彰 (様式-0)
	表3【技術者】評価項目の着色セルに項目を記入した場合、ここに記載文を直接入力！

工事实績等のコリンズ番号記入欄の記入方法が変わりました

*** 重要なお知らせ ***

同種工事施工実績、同種工事施工経験、橋梁維持修繕工事实績、近隣施工実績シートの
【コリンズ登録番号】記入欄について

- ・コリンズを提出しない場合は、別資料のみを提出、コリンズの竣工時の登録義務がない場合、竣工登録の手続き中の場合はそのいずれかの旨を直接記入してください。
- ・コリンズと別の資料を合わせて提出する場合は、コリンズ番号を記入し、コリンズも別の資料も添付してください。
- ・未記入のまま、発注者の証明書の写し等が添付されていても、評価の対象外となりますのでご注意ください。

(様式-2-1)

評価項目(1)-①

企業の工事成績評定点

会社(企業体)名: ◎◎◎◎会社

対象工事	完成年度	平成29年度から令和元年度(完成及び引き渡し完了)
	発注機関	島根県(総務部、農林水産部、土木部)
	工事種別	プレストレストコンクリート構造物工事(旧プレストレストコンクリート工事)
	建設工事の種類	土木一式工事

工事成績評定点の平均 (小数第2位を四捨五入)	件	点
----------------------------	---	---

- (1) 対象工事の工事成績評定点一覧表(別紙)を添付すること。
- (2) 工事種別については、各工事の契約時における「島根県土木工事仕様書」等において確認すること。
- (3) 単年度の対象工事件数が60件を超える場合、「工事成績評定点の平均」欄の「件数」及び「平均点」は、自動計算されないため、直接記入すること。
- (4) 上記事項の外、入札説明書本文にある要件を必ず確認すること。

※必要に応じて設定する事項

島根県(総務部、農林水産部、土木部)発注工事以外の工事を評価対象にする場合は、各工事の工事成績評定書の写し及び工事種別・種類を証明する資料を添付すること。また、島根県発注工事以外の工事で成績評定対象外工事がある場合、成績評定対象外であることを確認するための発注者の証明書の写しを添付すること。

技術資料提出工事名: 県道○線 道路改良工事

提出事務所名: 『島根県○○県土整備事務所』

有効範囲: 令和3年7月31日までに入札公告された工事

今後、『島根県○○県土整備事務所』が発注する工事においては、本書の写しをもって「企業の工事成績評定点」の貴社技術資料とみなし、その他添付資料の提出は不要とする。

(収受印)

技術資料の提出方法

別添押印済資料により提出しますので、本書への記載は省略します

【注】

- ・押印済資料で提出する場合、押印済資料で評価する。
- ・対象工事が異なる押印済資料を提出した場合、当該評価項目の加算点はゼロとする。
- ・収受印欄に収受印と併せて全県適用の押印があれば、上記に『島根県○○県土整備事務所』が発注する工事と記載があっても、本書の写しをもって島根県総務部、防災部、農林水産部及び土木部の事業課、関係地方機関が発注する工事において、その他添付資料の提出は不要とする。

注意書き修正 (以下注意書きのみの変更があるシートは省略)

(様式-3)

評価項目(1)-②

企業の同種工事の施工実績

会社(企業体)名: ○○○○会社

様式部分変更

対象工事	対象期間・対象機関	平成22年度から入札公告日前日までに完成及び引き渡し完了した島根県発注工事
	工事種別	プレストレストコンクリート構造物工事(旧プレストレストコンクリート工事)
	建設工事の種類	土木一式工事
	同種工事の定義	(列)杭基礎を有する直高5m以上の橋梁下部工を含む完成及び引き渡し完了した工事

工事内容		施工実績①				施工実績②			
工事名称等	工事名								
	コリズ登録番号								
	発注機関名								
	工事種別								
	建設工事の種類								
	施工場所	プルダウン注意				プルダウン注意			
	請負金額(最終・税込)	円				円			
契約上の工期	(始)	年	月	日	年	月	日		
	(終)	年	月	日	年	月	日		
受注形態	入力不要								
特別(特定)IVの場合、出資比率									
工事成績評定点		点				点			
(以下、工事数量等を求めた場合)		重要なお知らせの変更							
工事概要	施工規模	<p>***重要なお知らせ***</p> <p>同種工事施工実績、同種工事施工経験、橋梁維持修繕工事実績、近隣施工実績シートの【コリズ登録番号】記入欄について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コリズを提出しない場合は、別資料のみを提出、コリズの竣工時の登録義務がない場合、竣工登録の 手続き中の場合はそのいずれかの旨を直接記入してください。 ・コリズと別の資料を合わせて提出する場合は、コリズ番号を記入し、コリズも別の資料も添付してください。 ・未記入のまま、発注者の証明書の写し等が添付されていても、評価の対象外となりますのでご注意ください。 							
	形式								

(注1) ・コリズ登録番号欄には、①コリズ登録番号(10桁の数字)②別資料のみを提出③竣工時の登録義務なし④竣工登録の手続き中、のいずれかを記入すること。
 ・空欄とした場合は、評価の対象外とする。 注意書き 1 修正

(注2) コリズ登録義務
 ・島根県公共工事共通仕様書改訂(平成15年2月24日付け技発第369号)により、平成15年4月1日以降に契約する工事については、工事請負代金額500万円以上2,500万円未満の工事は【受注、訂正時】のみ登録するものとしている。
 ・島根県公共工事共通仕様書改訂(平成24年3月16日付け技第610号)により、平成24年4月1日以降に入札公告する工事については、工事請負代金額が500万円以上は全ての工事において、【受注、変更、完成、訂正時】にそれぞれコリズ登録するものとしている。

- (1) 施工実績(上表記載内容)全てが確認できるよう下表を参考に資料①～⑨を組み合わせ提出すること。
- ① コリンズの「登録内容確認書」の写し。(竣工登録に限る。)
 - ② 最終の見積参考資料(設計の変更回数を確認できる総括情報表と工事内訳表)。ただし、必ず当初、変更を含む契約書全ての写し(資料③) + 項目別評定点表(資料④)もしくは竣工検査済証の写し(資料⑤)を追加添付すること。
 - ③ 当初、変更を含む契約書全ての写し。
 - ④ 項目別評定点表。(島根県発注工事に限る。)
 - ⑤ 竣工検査済証の写し。
 - ⑥ 工事成績評定通知書の写し。ただし、工事成績評定対象外工事の場合は、「成績評定対象外」である旨を「工事成績評定点」欄に記載すること。(島根県以外の発注工事は、成績評定対象外であることを確認するための発注者の証明書の写し(資料⑧)も追加添付すること。)
 - ⑦ 資料①または資料②のみでは同種工事の施工実績(工事概要)が確認できない場合は、確認できる資料(工事名と設計の変更回数を確認できる最終図面等)。ただし、必ず当初、変更を含む契約書全ての写し(資料③) + 項目別評定点表(資料④)もしくは竣工検査済証の写し(資料⑤)を追加添付すること。
 - ⑧ 発注者の証明書の写し。(上記資料①～⑦で確認できない記載内容(コリンズ登録番号を除く。)を全て証明してあるもの。)
 - ⑨ 施工実績として提出する工事の「工事種別」及び「建設工事の種類」が確認できる資料

資料①～⑨で確認できる内容

項目名	資料番号									備考	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨		
工事名称等	工事名	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	コリンズ登録番号	○									①のみ対象
	発注機関名	○	○	○	○	○	○		○	○	
	工事種別、建設工事の種類	○							○	○	
	施工場所	○		○		○			○	○	
	請負金額(最終・税込)	○		○	○	○			○		
	契約上の工期	○		○	○	○	○		○		
	受注形態	○		○	○	○	○		○		
	特別(特定)JVの場合、出資比率	○							○		JV工事のみ対象
工事成績評定点				○		○		○		成績評定対象外工事の場合、⑧が必須(島根県発注工事以外)	
工事概要	○ or △	○ or △						○ or △	○	②、③、④、⑤を必要に応じて追加添付	

※1: 上表の「○」は資料で確認ができるもの、「△」は全ては確認できないもの。
 ※2: 上表の資料②、③、④、⑤、⑥の「○」と「△」は、島根県発注工事の場合。

条件1修正

(参考) 代表的な提出資料の組合せ

パターン名	条件1	条件2	提出資料の組合せ
パターン1	・コリンズと別資料を提出する場合	コリンズのみで工事概要が確認可能	①+④ ①+⑥
パターン2		コリンズのみで工事概要が確認できない。最終の見積参考資料を追加添付	①+②+③+④ ①+②+③+⑤+⑥
パターン3		コリンズのみで工事概要が確認できない。最終図面等を追加添付。	①+③+④+⑦ ①+③+⑤+⑥+⑦
パターン4		コリンズのみで工事概要が確認できない。発注者の証明書を追加添付。	①+⑧
パターン5	・別資料のみを提出する場合	最終の見積参考資料で工事概要が確認可能。	②+③+④+⑨ ②+③+⑤+⑥+⑨
パターン6		最終の見積参考資料で工事概要が確認できない。最終図面等を追加添付	②+③+④+⑦+⑨ ②+③+⑤+⑥+⑦+⑨
パターン7		最終の見積参考資料等、必要な資料を追加添付。	⑧ ⑧+⑨

- (2) 施工実績が2回以上ある場合は、代表的なもの2回分の提出でよい。
- (3) 特別(特定)JVで施工した工事については、出資比率20%以上の場合にのみ施工実績として認める。
- (4) 上記事項の外、入札説明書本文にある要件を必ず確認すること。

(様式-4)

評価項目(1)-③

企業の優良工事表彰(優良工事施工団体表彰)

会社(企業体)名: ○○○○会社

様式部分変更

対象工事	対象年度 対象機関	島根県内の公共事業において、平成28年度から令和2年度に、島根県及び中国地方整備局発注工事を受けた優良工事表彰(優良工事施工団体表彰)
	工事種別	プレストレストコンクリート構造物工事(旧プレストレストコンクリート工事)
	建設工事の種類	土木一式工事

表彰者の区分	
受賞年度	※竣工年度ではありません
工事名の区分	
工事名	
工事種別	
建設工事の種類	

旧(1) 添付資料削除

- 表彰状等の写しを添付すること。また、発注者から表彰実績に関する資料が提示された場合は、その写しの添付でもよい。
- 表彰の受賞が2回以上ある場合は、代表的なもの1回分の提出でよい。
- 「工事名の区分」欄は、「契約工事名」、「表彰状記載工事名」のいずれかを選択すること。
- 上記事項の外、入札説明書本文にある要件を必ず確認すること。

技術資料提出工事名: 県道○線 道路改良工事

提出事務所名: 『島根県○○県土整備事務所』

有効範囲: 令和3年7月31日までに入札公告された工事

今後、『島根県○○県土整備事務所』が発注する工事においては、本書の写しをもって「企業の優良工事表彰(優良工事施工団体表彰)」の貴社技術資料とみなし、その他添付資料の提出は不要とする。

技術資料の提出方法

「企業入力シート」の「押印済資料での提出」欄が未記入ですので、リストから「有」、「無」どちらかを選択してください

(收受印)

【注】

- ・押印済資料で提出する場合、押印済資料で評価する。
- ・対象工事が異なる押印済資料を提出した場合、当該評価項目の加算点はゼロとする。
- ・收受印欄に收受印と併せて全県適用の押印があれば、上記に『島根県○○県土整備事務所』が発注する工事と記載があっても、本書の写しをもって島根県総務部、防災部、農林水産部及び土木部の事業課、関係地方機関が発注する工事において、その他添付資料の提出は不要とする。

注意書き修正

#N/A
#N/A

配置予定技術者①、②、③共通

配置予定技術者の継続学習

会社(企業体)名: ○○○○会社

対象: 配置予定の主任(監理)技術者が保有するCPDSユニット

配置予定技術者氏名		保有するCPDSユニット		※評価結果 (発注者記載欄)
①	島根○○		ユニット	
②	島根△△		ユニット	
③	島根□□		ユニット	

- (1) 保有CPDSユニットが確認できる資料として、一般社団法人 全国土木施工管理技士会連合会が発行した「継続学習制度(CPDS)学習履歴証明書」の写しを添付する。平成26年度のまま変更無し
- (2) 「継続学習制度(CPDS)学習履歴証明書」は、平成26年度から入札公告日前日時点(令和2年7月31日時点)までに取得している保有CPDSユニットが確認できるものを添付すること。
- (3) 技術資料提出時に配置予定技術者が特定できない場合は、複数の候補者を記入できる。その場合、審査は候補者のうち配置予定技術者の評価点合計が最も低い者で評価する。
- (4) 上記事項の外、入札説明書本文にある要件を必ず確認すること。

技術資料提出工事名: 県道○線 道路改良工事

提出事務所名: 『島根県○○県土整備事務所』

有効範囲: 令和3年7月31日までに入札公告された工事

対象技術者: 上記①～③の配置予定技術者のうち、評価結果が「○」の者

今後、『島根県○○県土整備事務所』が発注する工事においては、本書の写しをもって「配置予定技術者の継続学習」の貴社技術資料とみなし、その他添付資料の提出は不要とする。
ただし、上記配置予定技術者のうち、必要ユニット数未達の者が新たに評価基準以上のユニット数を取得した場合は、技術資料及び必要な添付資料を再提出すること。

追記

①配置予定技術者: 島根○○ 技術資料の提出方法

#N/A

②配置予定技術者: 島根△△ 技術資料の提出方法

#N/A

③配置予定技術者: 島根□□ 技術資料の提出方法

#N/A

(收受印)

【注】

- ・押印済資料で提出する場合、押印済資料で評価する。
- ・対象ユニット数が異なる押印済資料を提出した場合、当該評価項目の加算点はゼロとする。
- ・收受印欄に收受印と併せて全県適用の押印があれば、上記に『島根県○○県土整備事務所』が発注する工事と記載があっても、本書の写しをもって島根県総務部、防災部、農林水産部及び土木部の事業課、関係地方機関が発注する工事において、その他添付資料の提出は不要とする。

注意書き修正

(様式-7)

配置予定技術者①用

評価項目(2)-③

様式部分変更

配置予定技術者の優秀建設技術者表彰

会社(企業体)名: ○○○○会社

対象工事	対象年度 対象機関	島根県内の公共事業において、平成28年度から令和2年度に、島根県及び中国地方整備局発注工事で主任(監理)技術者または現場代理人として受けた優秀建設技術者表彰
	工事種別	プレストレストコンクリート構造物工事(旧プレストレストコンクリート工事)
	建設工事の種類	土木一式工事

配置予定技術者 氏名	① 島根○○
表彰の種類	
受賞年度	
工事名の区分	
工事名	
工事種別	
建設工事の種類	

旧(1)添付資料削除

添付すること。(特に島根県知事表彰該当工事の場合は、「技術者の表彰状」の写しとともに「該当工事の表彰状」の写しの両方を添付すること。)。また、発注者から表彰実績に関する資料が提示された場合は、その写しの添付でもよい。

- (2) 表彰の受賞が2回以上ある場合は、代表的なもの1回分の提出でよい。
- (3) 「工事名の区分」欄は、「契約工事名」、「表彰状記載工事名」のいずれかを選択すること。
- (4) 表彰時点の所属会社は問わない。(現在の所属会社以外のもも記載できる。)
- (5) 技術資料提出時に配置予定技術者が特定できない場合は、複数の候補者を記入できる。その場合、審査は候補者のうち配置予定技術者の評価点合計が最も低い者で評価する。
- (6) 上記事項の外、入札説明書本文にある要件を必ず確認すること。

技術資料提出工事名: 県道○線 道路改良工事

提出事務所名: 『島根県○○県土整備事務所』

有効範囲: 令和3年7月31日までに入札公告された工事

今後、『島根県○○県土整備事務所』が発注する工事においては、本書の写しをもって「配置予定技術者の優秀建設技術者表彰」の貴社技術資料とみなし、その他添付資料の提出は不要とする。

(收受印)

技術資料の提出方法

本技術資料により提出します

【注】

- ・押印済資料で提出する場合、押印済資料で評価する。
- ・対象工事が異なる押印済資料を提出した場合、当該評価項目の加算点はゼロとする。
- ・收受印欄に收受印と併せて全県適用の押印があれば、上記に『島根県○○県土整備事務所』が発注する工事と記載があっても、本書の写しをもって島根県総務部、防災部、農林水産部及び土木部の事業課、関係地方機関が発注する工事において、その他添付資料の提出は不要とする。

注意書き修正

県管理公共土木施設に関する維持管理業務または海岸漂着物の回収業務の契約実績
会社(企業体)名: ○○○○会社

対象: 平成30年度及び令和元年度の県管理公共土木施設に関する維持管理業務または海岸漂着物の回収業務の契約実績

評価対象地域 島根県内

平成30年度				
発注機関	元請・下請 区分	委託期間 上段:着手日/下段:完了日	業務名	施工箇所
	入力不要			
令和元年度				
発注機関	元請・下請 区分	委託期間 上段:着手日/下段:完了日	業務名	施工箇所

- (1) 対象年度において、県管理公共土木施設に関する維持管理業務(発注機関は問わない。島根県発注業務においては県が認めた下請け業務も含む。)または島根県発注の海岸漂着物の回収業務の契約実績(県が認めた下請け業務も含む。)のうち、1回の契約期間が△ヶ月以上のものについて記入すること。
- (2) 1回の契約期間が両年度にわたるものは、契約期間の長い方の年度に契約実績を記入すること。
- (3) 1回の契約期間が1年△ヶ月以上の場合、両年度とも契約実績として記入すること。
- (4) 契約実績を確認する資料として、当該年度の業務内容の分かる資料(契約書、下請負人通知書、施工体制台帳、下請契約書、注文書・請書、発注者の実績証明証等の写し)を添付すること。
- (5) 上記(4)の資料で評価対象地域が確認できない場合は、確認できる資料(位置図)を追加添付すること。
- (6) 上記事項の外、入札説明書本文にある要件を必ず確認すること。

技術資料提出工事名: 県道○線 道路改良工事

提出事務所名: 『島根県○○県土整備事務所』

有効範囲: 令和3年7月31日までに入札公告された工事

今後、『島根県○○県土整備事務所』が発注する工事においては、本書の写しをもって「県管理公共土木施設に関する維持管理業務または海岸漂着物の回収業務の契約実績」の貴社技術資料とみなし、その他添付資料の提出は不要とする。

ただし、本提出書類では契約実績が確認できない(評価対象となる施工範囲を満足していないなど)場合、再度、技術資料及び必要な添付資料の提出が必要である。

技術資料の提出方法

本技術資料により提出します

(收受印)

【注】 注意書き修正

・押印済資料で提出する場合、押印済資料で評価する。

空港追加

県管理道路・空港を含む除雪業務の契約実績

会社(企業体)名: ○○○○会社

対象: 平成30年度及び令和元年度の県管理道路・空港を含む除雪業務の契約実績
空港追加

評価対象地域 島根県内

平成30年度

発注機関	元請・下請 区分	委託期間 上段:着手日/下段:完了日	業務名	施工箇所
	入力不要		プルダウン化	

令和元年度

発注機関	元請・下請 区分	委託期間 上段:着手日/下段:完了日	業務名	施工箇所
		空港追加	プルダウン化	

- 対象年度において、県管理道路・空港を含む除雪業務(凍結防止剤散布業務を含む。)の契約実績(島根県発注業務においては県が認めた下請け実績も含む。)について記載すること。
- 契約実績を確認する資料として、当該年度の業務内容の分かる資料(契約書、下請負人通知書、施工体制台帳、下請契約書、注文書・請書、発注者の実績証明証等の写し)を添付すること。
- 上記(2)の資料で評価対象地域が確認できない場合は、確認できる資料(位置図)を追加添付すること。

技術資料提出工事名: 県道○線 道路改良工事

提出事務所名: 『島根県○○県土整備事務所』

有効範囲: 令和3年7月31日までに入札公告された工事

今後、『島根県○○県土整備事務所』が発注する工事においては、本書の写しをもって「県管理道路・空港を含む除雪業務の契約実績」の貴社技術資料とみなし、その他添付資料の提出は不要とする。

ただし、本提出書類では契約実績が確認できない(評価対象となる施工範囲を満足していないなど)場合、再度、技術資料及び必要な添付資料の提出が必要である。

(收受印)

技術資料の提出方法

本技術資料により提出します

【注】 注意書き修正

・押印済資料で提出する場合、押印済資料で評価する。

若手・中堅技術者の配置

会社(企業体)名: _____

自動計算化

対象: 満40歳未満の技術者を主任(監理)技術者として配置

配置予定技術者氏名	生年月日	年齢
①	昭和55年8月3日	
② 島根2	昭和55年8月4日	40歳 (NO)
③ 島根3	昭和55年8月5日	39歳 (OK)

- 年齢は、入札公告日前日時点(令和2年8月4日時点)で記入すること。
- 生年月日が確認できる資料(健康保険被保険者証の写し、生年月日が記載されている資格証の写し等)を添付すること。他の技術資料で生年月日が確認できる資料を添付している場合は、添付しなくてよい。
- 複数の候補者を記入する場合、全て候補者の年齢が満40歳未満であれば評価する。
- 上記事項の外、入札説明書本文にある要件を必ず確認すること。

#N/A
#N/A

橋梁の維持修繕工事の施工実績

会社(企業体)名: ○○○○会社

様式部分変更

追記

対象: 平成24年度から入札公告日前日までに完成及び引き渡し完了した島根県(総務部、農林水産部、土木部)が発注した下記工事

対象工事	(列) 島根県内における橋梁の維持修繕工事
工事種別	プレストレストコンクリート構造物工事(旧プレストレストコンクリート工事)
建設工事の種類	土木一式工事

工事内容	施工実績①
工 事 名	
コリンズ登録番号	
発注機関名	
工事種別	
建設工事の種類	
施工場所	
請負金額(最終・税込)	円
契約上の工期	(始) 年 月 日 (終) 年 月 日
受注形態	
特別(特定)JVの場合、出資比率	
工事成績評定点	点

***** 重要なお知**
同種工事施工実績
・コリンズを提出しない場合は、
手続き中のいずれかの旨を
・コリンズと別の資料を合わせ
・未記入のまま、発注者の証明

プルダウン注意

入力不要

(注1) ・コリンズ登録番号欄には、①コリンズ登録番号(10桁の数字)②別資料のみを提出③竣工時の登録義務なし④竣工登録の手続き中、のいずれかを記入すること。
・空欄とした場合は、評価の対象外とする。

注意書き 1 修正

(注2) コリンズ登録義務

- ・島根県公共工事共通仕様書改訂(平成15年2月24日付け技発第369号)により、平成15年4月1日以降に契約する工事については、工事請負代金額500万円以上2,500万円未満の工事は【受注、訂正時】のみ登録するものとしている。
- ・島根県公共工事共通仕様書改訂(平成24年3月16日付け技第610号)により、平成24年4月1日以降に入札公告する工事については、工事請負代金額が500万円以上は全ての工事において、【受注、変更、完成、訂正時】にそれぞれコリンズ登録するものとしている。

- (1) 施工実績(上表記載内容)全てが確認できるよう下表を参考に資料①～⑨を組み合わせて提出すること。
- ① コリンズの「登録内容確認書」の写し。(竣工登録に限る。)
 - ② 最終の見積参考資料(設計の変更回数を確認できる総括情報表と工事内訳表)。ただし、必ず当初、変更を含む契約書全ての写し(資料③) + 項目別評定点表(資料④)もしくは竣工検査済証の写し(資料⑤)を追加添付すること。
 - ③ 当初、変更を含む契約書全ての写し。
 - ④ 項目別評定点表。(島根県発注工事に限る。)
 - ⑤ 竣工検査済証の写し。

- ⑥ 工事成績評定通知書の写し。ただし、工事成績評定対象外工事の場合は、「成績評定対象外」である旨を「工事成績評定点」欄に記載すること。(島根県以外の発注工事は、成績評定対象外であることを確認するための発注者の証明書の写し(資料⑧)も追加添付すること。)
- ⑦ 資料①または資料②のみでは同種工事の施工実績(工事概要)が確認できない場合は、確認できる資料(工事名と設計の変更回数を確認できる最終図面等)。ただし、必ず当初、変更を含む契約書全ての写し(資料③)+項目別評定点表(資料④)もしくは竣工検査済証の写し(資料⑤)を追加添付すること。
- ⑧ 発注者の証明書の写し。
- ⑨ 施工実績として提出する工事の「工事種別」及び「建設工事の種類」が確認できる資料

資料①～⑨で確認できる内容

項目名	資料番号									備考	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨		
工事名称等	工事名	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	コリンズ登録番号	○									①のみ対象
	発注機関名	○	○	○	○	○	○		○	○	
	工事種別、建設工事の種類	○							○	○	
	施工場所	○		○		○			○	○	
	請負金額(最終・税込)	○		○	○	○			○		
	契約上の工期	○		○	○	○	○		○		
	受注形態	○		○	○	○	○		○		
特別(特定)JVの場合、出資比率	○							○		JV工事のみ対象	
工事成績評定点				○		○		○		成績評定対象外工事の場合、⑧が必須(島根県発注工事以外)	

※1: 上表の「○」は資料で確認ができるもの、「△」は全ては確認できないもの。
 ※2: 上表の資料①～⑨、⑤、⑥の「○」と「△」は、島根県発注工事の場合。

条件1修正

(参考)代表的な提出資料の組合せ

パターン名	条件1	条件2	提出資料の組合せ
パターン1	・コリンズと別資料を提出する場合	コリンズのみで工事概要が確認可能。	①+④ ①+⑥
パターン2		コリンズのみで工事概要が確認できない。最終の見積参考資料を追加添付。	①+②+③+④ ①+②+③+⑤+⑥
パターン3		コリンズのみで工事概要が確認できない。最終図面等を追加添付。	①+③+④+⑦ ①+③+⑤+⑥+⑦
パターン4		コリンズのみで工事概要が確認できない。発注者の証明書を追加添付。	①+⑧
パターン5	・別資料のみを提出する場合	最終の見積参考資料で工事概要が確認可能。	②+③+④+⑨ ②+③+⑤+⑥+⑨
パターン6		最終の見積参考資料で工事概要が確認できない。最終図面等を追加添付。	②+③+④+⑦+⑨ ②+③+⑤+⑥+⑦+⑨
パターン7		最終の見積参考資料等、必要な資料を追加添付	⑧ ⑧+⑨

- (2) 施工実績が2回以上ある場合は、代表的なもの2回分の提出でよい。
- (3) 特別(特定)JVで施工した工事については、出資比率20%以上の場合にのみ施工実績として認める。
- (4) 上記事項の外、入札説明書本文にある要件を必ず確認すること。

#N/A
#N/A

地理的条件
(近隣地域での施工実績)

会社(企業体)名: ◎◎◎◎会社

様式部分変更

対象: 平成30年度及び令和元年度に完成及び引き渡し完了した島根県(総務部、農林水産部、土木部)発注の下記工事

対象工事	(例)〇〇県土整備事務所管内における請負金額500万以上(税込)の工事
工事種別	プレストレストコンクリート構造物工事(旧プレストレストコンクリート工事)
建設工事の種類	土木一式工事

工事内容	施工実績①	施工実績②
工事名		
コリンズ登録番号		
発注機関名		
工事種別		
建設工事の種類		
施工場所		
請負金額(最終・税込)	プルダウン注意	プルダウン注意
契約上の工期	(始) 年 月 日 (終) 年 月 日	年 月 日
受注形態	入力不要	
特別(特定)JVの場合、出資比率		
工事成績評定点	点	点

(注1) ・コリンズ登録番号欄には、①コリンズ登録番号(10桁の数字)②別資料のみを提出③竣工時の登録義務なし④竣工登録の手続き中、のいずれかを記入すること。
・空欄とした場合は、評価の対象外とする。

注意書き 1 修正

(注2) コリンズ登録義務

・島根県公共工事共通仕様書改訂(平成15年2月24日付け技発第369号)により、平成15年4月1日以降に契約する工事については、工事請負代金額500万円以上2,500万円未満の工事は【受注、訂正時】のみ登録するものとしている。
・島根県公共工事共通仕様書改訂(平成24年3月16日付け技第610号)により、平成24年4月1日以降に入札公告する工事については、工事請負代金額が500万円以上は全ての工事において、【受注、変更、完成、訂正時】にそれぞれコリンズ登録するものとしている。

(1) 施工実績(上表記載内容)全てが確認できるよう下表を参考に資料①～⑤を組み合わせ提出すること。

- ① コリンズの「登録内容確認書」の写し。(竣工登録に限る。)
- ② 最終の見積参考資料(設計の変更回数を確認できる総括情報表と工事内訳表)。ただし、必ず当初、変更を含む契約書全ての写し(資料③) + 項目別評定点表(資料④)もしくは竣工検査済証の写し(資料⑤)を追加添付すること。
- ③ 当初、変更を含む契約書全ての写し。
- ④ 項目別評定点表。(島根県発注工事に限る。)
- ⑤ 竣工検査済証の写し。

- ⑥ 工事成績評定通知書の写し。ただし、工事成績評定対象外工事の場合は、「成績評定対象外」である旨を「工事成績評定点」欄に記載すること。(島根県以外の発注工事は、成績評定対象外であることを確認するための発注者の証明書の写し(資料⑧)も追加添付すること。)
- ⑦ 資料①または資料②のみでは同種工事の施工実績(工事概要)が確認できない場合は、確認できる資料(工事名と設計の変更回数を確認できる最終図面等)。ただし、必ず当初、変更を含む契約書全ての写し(資料③)+項目別評定点表(資料④)もしくは竣工検査済証の写し(資料⑤)を追加添付すること。
- ⑧ 発注者の証明書の写し。
- ⑨ 施工実績として提出する工事の「工事種別」及び「建設工事の種類」が確認できる資料

資料①～⑨で確認できる内容

項目名	資料番号									備考	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨		
工事名称等	工事名	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	コリズ登録番号	○									①のみ対象
	発注機関名	○	○	○	○	○	○		○	○	
	工事種別、建設工事の種類	○							○	○	
	施工場所	○		○		○			○	○	
	請負金額(最終・税込)	○		○	○	○			○		
	契約上の工期	○		○	○	○	○		○		
	受注形態	○		○	○	○	○		○		
特別(特定)JVの場合、出資比率	○							○		JV工事のみ対象	
工事成績評定点				○		○		○		成績評定対象外工事の場合、⑧が必須(島根県発注工事以外)	

※1:上表の「○」は資料で確認ができるもの、「△」は全ては確認できないもの。
 ※2:上表の資料②、③、④、⑤、⑥の「○」と「△」は、島根県発注工事の場合。

(参考)代表的な提出資料の組合せ **条件1修正**

パターン名	条件1	条件2	提出資料の組合せ
パターン1	・コリズと別資料を提出する場合	コリズのみで工事概要が確認可能。	①+④ ①+⑥
パターン2		コリズのみで工事概要が確認できない。最終の見積参考資料を追加添付。	①+②+③+④ ①+②+③+⑤+⑥
パターン3		コリズのみで工事概要が確認できない。最終図面等を追加添付。	①+③+④+⑦ ①+③+⑤+⑥+⑦
パターン4		コリズのみで工事概要が確認できない。発注者の証明書を追加添付。	①+⑧
パターン5	・別資料のみを提出する場合	最終の見積参考資料で工事概要が確認可能。	②+③+④+⑨ ②+③+⑤+⑥+⑨
パターン6		最終の見積参考資料で工事概要が確認できない。最終図面等を追加添付。	②+③+④+⑦+⑨ ②+③+⑤+⑥+⑦+⑨
パターン7		最終の見積参考資料等、必要な資料を追加添付。	⑧ ⑧+⑨

- (2) 施工実績が2回以上ある場合は、代表的なもの2回分の提出でよい。
- (3) 特別(特定)JVで施工した工事については、出資比率20%以上の場合にのみ施工実績として認める。
- (4) 上記事項の外、入札説明書本文にある要件を必ず確認すること。